

保健教育学習指導案

指導者 田野原 佑美

- 1 日 時 令和5年11月18日(土) 第1校時(9:00~9:45)
- 2 学年・組 小学校第6学年2組 計31名(男子16名,女子15名)
- 3 場 所 6年2組教室
- 4 題 材 名 保健だよりをつくろう
- 5 題材について

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における五類感染症に移行し、様々な行動制限が緩和された。しかし、感染機会がなくなったわけではなく、換気、手指衛生、マスク着用などの感染対策は引き続き推奨されている。加えて、感染対策や自身の体調不良時の行動について、個人の判断が求められるようになった。そのため、児童が自身の体調の判断や感染予防行動をとることについて考えて主体的に判断できる能力が求められる。感染症予防行動として推奨されている手洗いについて理解を深め、その行動の定着をはかることは引き続き重要であるが、児童が主体的に判断できる能力を身につけるためには、健康や医療に関する情報を入手し、理解し、評価し、活用する力であるヘルスリテラシーを高める必要がある。

本学級の児童の実態については、前年度に保健指導で手洗い実験と ICT を活用する情報検索を組み合わせた指導を行った。手洗い実験を行うことで、児童は手洗い後の汚れの残存を確認でき、自身の手洗いの改善の意欲に繋がっていた。そして、情報検索をすることも手洗いについての興味・好奇心を刺激し、手洗いを改善する意欲に繋がっていると考えられた。一方で、児童が検索した情報の信頼性の検証を行っていないことが課題となっている。

そこで、本時の学習を通じて、感染症予防の情報活用を主体的に判断し、実生活に活かすことのできる児童の育成を目指したいと考えた。児童の指導に当たっては、児童が手洗いをテーマとした保健だよりを作成することを主活動として設定した。保健だよりは、子どもの健康に関わる事柄について情報発信するものであり、学校では養護教諭が作成し、配布されていることが多い。児童にとって身近なものである。健康情報を発信するためには、健康情報を収集し、目的に合った掲載内容を精選していく。今回、児童は各自でテーマに沿った情報を収集する際に ICT を活用して検索する活動を行うことで保健だよりを作成し、さらに児童自身が作成した保健だよりの情報の信頼性の検証や表現方法を評価する活動を行うことで、健康情報活用能力を高めていくことを目指す。

6 題材の目標

- (1) 感染症予防における手洗いの効果を理解することができる。
- (2) 情報検索の際に、情報源の信頼性について考えることができる。
- (3) 得た情報を他者にわかりやすく伝えることができる。

7 指導計画(全2時間)

次	時	学習内容
1	1	情報を検索して保健だよりを作成する。
1	2	作成した保健だよりを評価する。(本時2/2)

8 本時の目標

保健だより作成に使用した情報の信頼性の検討しながら、他者に伝える情報として適した表現方法を理解することができる。【思考・判断・表現】

9 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童・生徒の姿
Ⅲ	感染症予防について、設定したテーマに沿った情報を保健だよりとして記事に分かりやすくまとめている。情報源の信頼性について、吟味して情報を使用している。
Ⅱ	感染症予防について、設定したテーマに沿った情報を保健だよりとして記事にまとめている。検索した情報を使用している。(評価規準)
Ⅰ	感染症予防について設定したテーマと保健だよりの記事が一致していない。検索した情報をつかっていない。
手立て【関連する教師の資質能力】	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を検索し、テーマに沿った内容を表現する手段として、児童が保健だよりを作成する。【授業構想力】 ○ 保健だよりの評価の際には、活用のポイントに沿っているのか、意識できるよう声かけを行う。【授業実践力】 	

10 学習の展開

第2時 (本時)

学習活動と内容	指導上の留意点 (◆評価)
1. 前時を振り返る。	
「伝えたい！」が、保健だよりの中にある？	
2. 自分の保健だよりについて工夫した点をワークシートに記入する。 代表児童(2~3名)が、発表する。	○ より多様な活用方法を共有できるよう、机間指導を行い児童の記述を確認する。
3. 作成した保健だよりについて評価の視点(読みやすい表現、実情に合っている、情報の正確さ)を考える。	○ 2.での児童の発表内容と前時の保健だより作成するときのポイントを簡潔に板書することで、4.で評価する際に確認できるようにする。
4. 自分の保健だよりを3.の評価の視点を中心にもう一度見直す。	○ 評価の視点を元に具体的に振り返ることができるよう、自身のよい点と改善点の二つの視点から見直すよう声かけをする。
5. 本時の学習を振り返る。 ・感想を記入する。	◆ 検索した情報の信頼性の検討すること、得た情報をテーマに沿って表現することが理解できている。【思考力・判断力・表現力等】

